

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦
編集者/ 教育・広報部

駅業務執行体制の再構築(その2)の提案を受ける!!

9月10日、支社より「2021年度駅業務執行体制の再構築(その2)について、提案を受けました。

会社は「変革2027」に掲げたビジョンを具現化するため、効率的な駅業務執行体制を構築し、経営体質を抜本的に強化する必要があるとの考えから、駅業務の委託の解除や販売体制の見直しを実施する内容を明らかにしました。

1. 実施内容

(1) 駅業務委託の解除(無人駅化)

川崎新町駅

(2) 販売体制の見直し(券売機の撤去)

川崎新町駅、国道駅、鶴見小野駅、弁天橋駅、浅野駅、安善駅、
武蔵白石駅、浜川崎駅

(昭和駅、扇町駅、新芝浦駅、海芝浦駅、大川駅については、
すでに自動券売機は撤去されている)

2. 周知・教育

必要な周知・教育は実施する。

必要な周知については概ね2か月前より行う。

3. 実施日

2022年3月1日実施

4. その他

駅業務委託に伴い、着札の回収業務を行う。(尻手駅・鶴見線営業所)

- ・現在スイカ等のIC乗車券利用が9割を占めているため販売体制の見直しを行った。
- ・インターホンがない駅での対応は「お問い合わせセンター」に連絡してもらい、対応することとなる。
- ・着札の回収については、月1回程度。南武支線各駅・浜川崎駅(鶴見線)は、尻手駅。鶴見線各駅(浜川崎駅を除く)は、鶴見線営業所が行う。

働きやすさはあるのか?

利用するお客さまの影響はどうか?

働く側から様々な視点を持って考えよう!!